

特集 南西アジアの 文化と文学

目次 総合文化研究 5号

インド文学に見る自己犠牲

—ホーリー祭縁起譚を中心に—

水野善文 — 4

ナイヤル・マスウードの小説世界

スヘル・アフマド・ハーン

萩田博訳・解説 — 16

ヘラートの記憶

神秘哲学者サーイヌッディーン・アリー・ビン・
トゥルカ・イスファハーニー（一四三二／三年没）の
弁明書に見る「異端」の相貌

藤井守男 — 23

二〇世紀初頭ブハラの断食月
サドリッディーン・アイニーの「回想録」より
島田志津夫訳 — 36

チャガタイ文学とイラン的伝統

菅原陸 — 49

ペルシア古典文学にみる表象

ハーフェズ *Hāfez* の「人間」への考察

佐々木あや乃 — 63

カイロっ子に託された夢

下町の民衆を信じたある作家の試み

八木久美子 — 76

書評

村尾誠一『新統古今和歌集』

和歌文学体系 1 2 明治書院

沓掛良彦 — 126

岡田知子編『現代カンボジア短篇集』

財団法人大同生命国際文化基金

小林二男 — 128

宇戸清治・川口健一編『東南アジア文学への招待』

段々社

三枝壽勝／巖基珠 — 130

鈴木聡訳『ウルフ・ソレント』上下巻

国書刊行会

加藤雄二 — 134

アレクサンドル・ドーリン訳

『種田山頭火—詩と散文』

ヒュベリオン出版 サンクト・ペテルブルク

渡辺雅司 — 138

寄稿

ある二重の修行の物語

I.カルヴィーノの宇宙的アイロニーと

M.ケンデラの小説的笑い

マッシモ・リッツァンテ

陶山大一郎訳 — 92

ガイコツジンなんかこわくない

複製時代のほくら

三枝壽勝 — 105

Réflexions ontologiques sur le roman

affinités et incompatibilités

entre Kundera et Girard

Yoshinari NISHINAGA — i

The Image of Russia in Japanese Poetry

Alexandre DOLIN — vii